ドライブレコーダー

# 録 ドラドラ まるっと

型番 DD-W01

DD-W01 VIEWER

## 取扱説明書

この度は、DD-W01 VIEWERをご利用いただき、誠にありがとうございます。
本ソフトウェアはドライブレコーダー「DD-W01」で記録したデータを再生するためのソフトウェアです。
本ソフトウェアを十分効果的にご活用いただく為、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

## 目次


■ 各部の名称と機能 2
■ 各部の機能詳細 3～6
■ 再生する 7～9
■ 動画を保存する 9～11
■ 映像を拡大表示する 12～13
■ 映像を全画面表示する 14
■ パノラマ表示 15～16
■ ソフトウェア使用許諾契約書 17

## 各部の名称と機能

①記録映像　　記録リストで選択した記録データの映像を表示します。
1 は前方カメラ、2 は後方カメラです。
表示選択によって、1画面表示、同時表示ができます。右下部に記録日時が表示されます。
範囲を指定して拡大表示することができます。
(※詳細は「映像を拡大表示する」の項を参照してください。)

②加速度センサー情報　　再生中の記録データの3軸(上下、左右、前後)加速度センサー(Gセンサー)の波形情報を表示します。

③記録データリスト/地図表示　　記録データのリストを表示したり、地図(位置情報)を表示します。
<上部タブで、SD再生やファイル再生を選択した場合>
SDカードの記録データやHDDに保存した記録データをリスト表示します。
記録データをクリックして選択すると再生が始まります。
SDカード再生の場合には、各記録の開始日時、録画種類、イベント種類を表示します。
また、選択した常時録画データ内のイベントを集計したリストを表示します。
<上部タブで、地図を選択した場合>
記録データの位置情報から車両の位置とその記録データの移動軌跡を地図上に表示します。

④コントローラ　　記録データの再生、一時停止、停止、早送り/早戻し、コマ送り/戻し、映像の表示画面選択、映像の全画面表示、映像の明るさ調整、再生音声の音量調整、HDDへの保存操作を行います。
Gセンサー表示下部のスライダーバーは、再生位置の表示と移動を行います。

⑤車両情報表示部　　再生中の記録データの車速を表示します。

⑥位置情報表示部　　再生中の記録データのGPS位置情報(緯度・経度、および位置精度)を表示します。

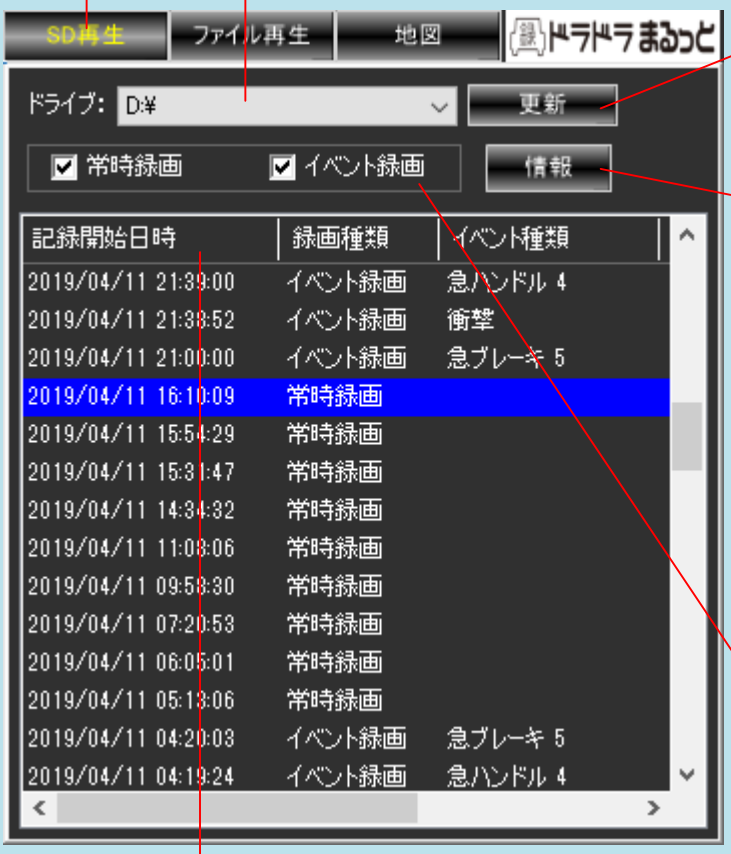
## 各部の詳細機能

◆記録データリスト部

①SDカード記録データリスト

SD再生タブ

<ドライブ選択>
SDカードを挿入したドライブを選択します。




<更新ボタン>
挿入したSDカードから記録リストを読み込みます。

<イベント情報表示ボタン>
イベント情報集計表を表示するボタンです。
常時録画データを選択した場合のみ表示されます。
選択した常時録画データで記録された加速度センサーイベントを種別毎にカウントして表示します。

<録画種類選択>
リスト表示を録画種類毎に選択できます。
チェックボックスにチェックを付け、更新ボタンを押すと該当する記録データがリストに表示されます。
常時録画は、ACC-ONからACC-OFFまでの記録データです。
イベント録画は、加速度センサー(急加減速、急ハンドル、衝撃)や録画スイッチによる記録データです。

<リスト表示部>
記録データのリストを表示します。
各項目欄をクリックするとデータを昇順・降順で並び替えできます。
クリックするたびに昇順・降順が切り替わります。

記録開始日時：記録データの記録開始日時を表示します。
録画種類　　：常時録画、イベント録画の種別を表示します。
イベント種類：イベント録画が発生した際の発生理由を表示します。
　　急加速/急ブレーキ/急ハンドルをそれぞれ6段階、衝撃、録画スイッチを表示します。

②イベント情報表示

情報 ボタンを押すと下図の情報ダイアログが表示され、各危険運転項目の検知回数が表示されます。
OK でダイアログを閉じます。

| 危険レベル | 急加速 | 急ブレーキ | 急ハンドル |
|---|---|---|---|
| 1（危険度高） | 0 | 0 | 0 |
| 2 | 0 | 0 | 0 |
| 3 | 0 | 0 | 1 |
| 4 | 0 | 0 | 0 |
| 5 | 0 | 1 | 1 |
| 6（危険度低） | 0 | 2 | 0 |
| 衝撃 | | | 0 |

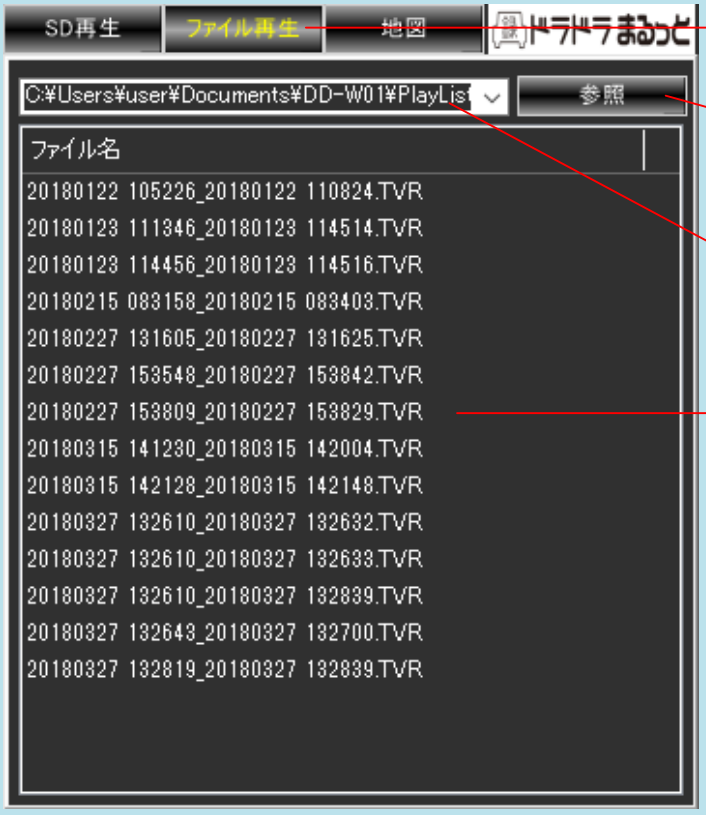
<危険レベル>
数字が小さいほど、危険度が高い運転挙動になります。

衝撃：加速度の値は大きいが、短時間の衝撃が発生した場合に検知します。
段差や牽引車両、積荷の挙動等で検知する場合があります。
※危険な運転や事故の際にも検知する場合があります。

※危険レベルは、車両やDD-W01の設置状態によって正しく検知できない場合があります。
また、荷積み時の衝撃等によっても反応する場合があります。

**安全運転の目安として、映像確認とあわせてご利用ください。**

③ファイル再生




<ファイル再生タブ>
HDDに保存した記録データリストを表示します。

<参照ボタン>
リスト表示するフォルダーを選択します。

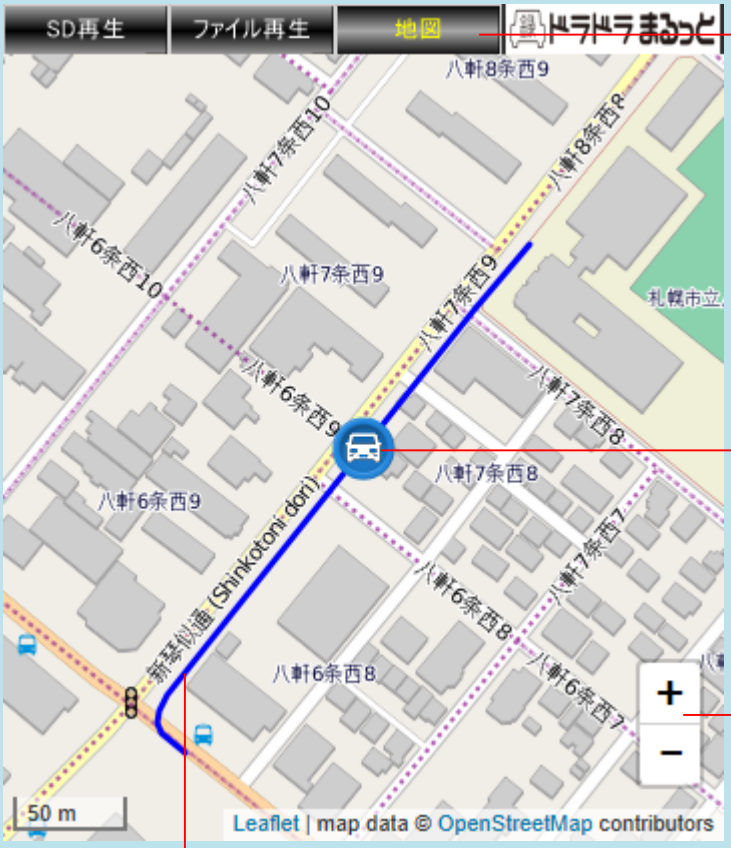
<フォルダー>
記録データリストを表示するフォルダー名を表示します。
過去に表示したフォルダーはリスト化され、このリストからも表示フォルダーを選択することができます。

<ファイルリスト>
選択されたフォルダー内に保存された、記録データファイルの一覧を表示します。

ワンポイント ～記録データのHDD保存の活用方法～

**SDカードの記録は、古いデータから上書きされていきます。**
**保存したいデータがある場合は、日付等でフォルダーを分類し、分かりやすい名称で保存すると、後から再生する場合に、再生したいデータを検索しやすくなります。**
**（記録データのHDD保存の方法は「動画を保存する」を参照してください。）**

◆地図表示部




<地図表示タブ>
記録データを選択後、地図のタブをクリックすると記録データリスト表示部に地図が表示されます。

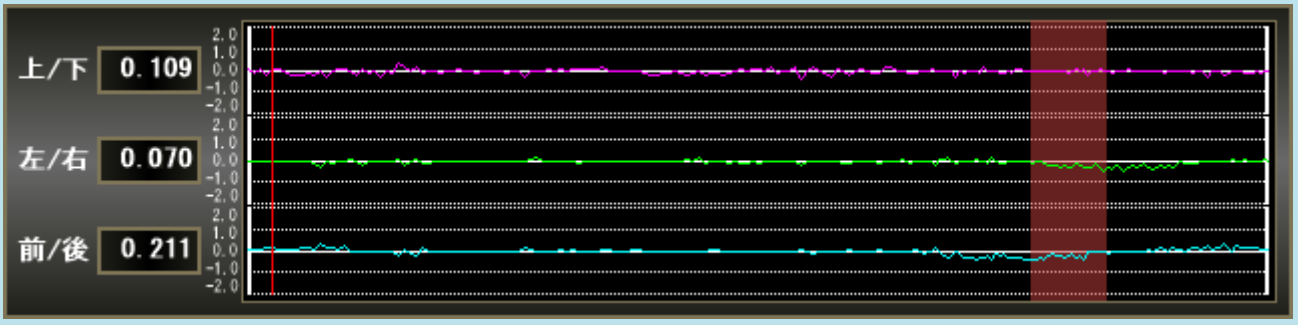
<車両表示マーク>
車両の現在位置を表示します。
※停止中や、低速時、またはGPSの電波受信状況により、車両の位置が正しく表示されない場合があります。

<縮尺変更>
地図の縮尺を変更します。
＋で地図を拡大(縮尺：小)
－で地図を縮小(縮尺：大)

<運行軌跡表示>
GPSの位置情報を用いて、運行した経路を表示します。
常時録画データの場合は20秒間隔、イベント録画データの場合は1秒間隔でプロットして直線で結びます。
※GPSの位置精度により正しく表示されない場合があります。
※トンネル等、GPSの電波を受信できない時間帯は、最後に受信した地点を表示します。
※常時録画データは20秒間隔でプロットするため、地図上の道路と軌跡が一致しない場合があります。

◆加速度センサー表示部

3軸加速度センサーの波形を表示します。
上/下(紫)、左/右(緑)、前/後(青)の3軸を表示します。
グラフは、一定期間の加速度値を表示し、赤線で再生日時のグラフ上での位置を表示します。
軸名称右の数値は、瞬間(赤線位置)の加速度値を表示します。
イベント録画データ再生時は、イベントが発生した時間帯を網掛け(薄赤色)表示します。




※グラフは、加速度値を表示しており、車両固有の振動等により運転挙動以外の大きな波形が表示される場合があります。
DD-W01の危険運転挙動検知には、これら振動等をキャンセルするアルゴリズムを使用し、波形の大きさ、時間を分析して検知しています。
波形が大きく表示されても、直ぐに危険運転挙動と判断されるものではありません。

◆位置情報表示部

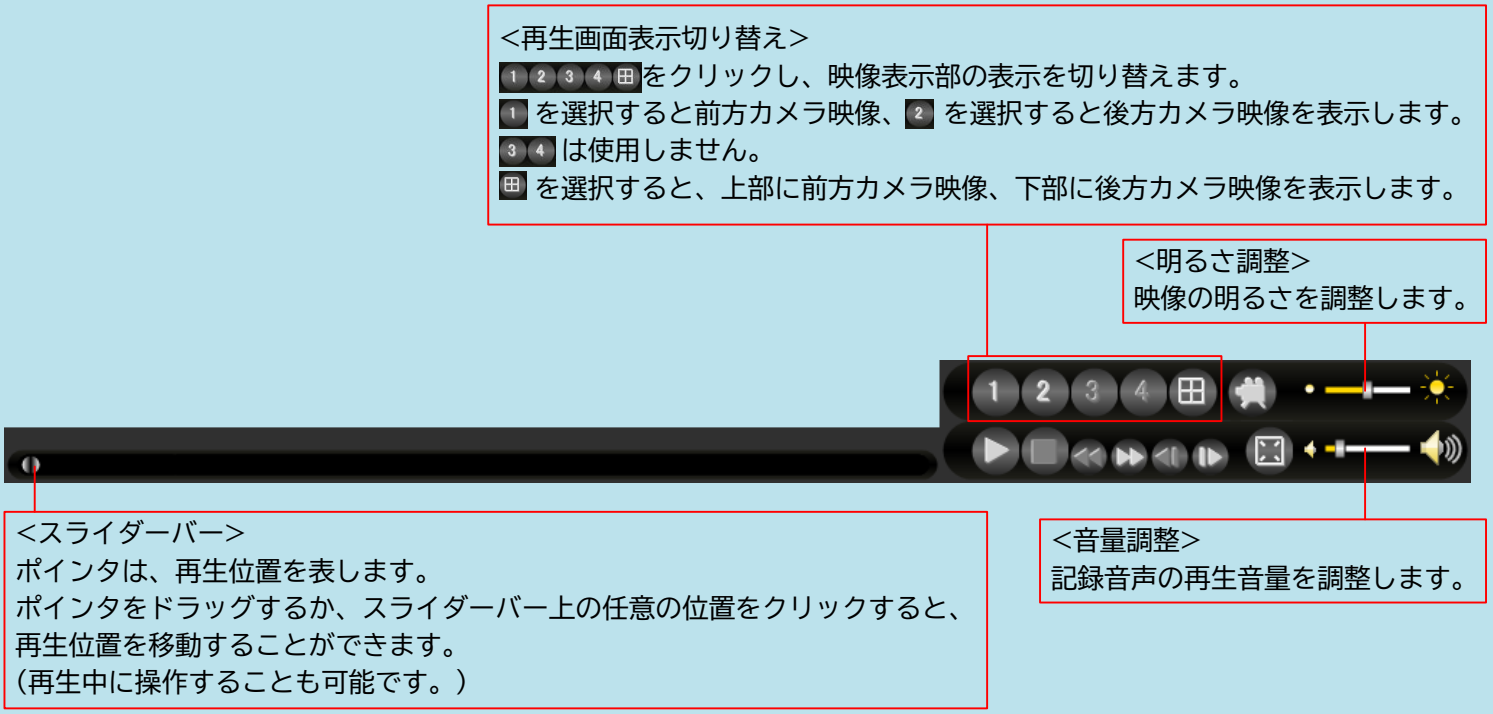
GPSの緯度・経度、位置精度を表示します。

緯度(N：北緯、S：南緯)、経度(E：東経、W：西経)を時分秒で表示します。

位置精度は、その瞬間のGPS電波の受信状況を表示しており、100に近いほど受信状態が良好であることを示します。

※GPSは、トンネルや建物の間、車両内のGPSアンテナ遮蔽物の有無等により受信状況が変化します。

◆再生制御部




をクリックすると選択中の記録データをパソコン内に保存することができます。

(※詳細は「動画を保存する」を参照してください。)

をクリックすると映像を全画面表示することができます。(※詳細は「映像を全画面表示する」を参照してください。)

<再生操作ボタン>

再生、停止、一時停止、早送り/早戻し、コマ送り/コマ戻しを操作します。

で再生を開始します。再生中は が表示され、 をクリックすると一時停止します。

をクリックすると、再生を停止して先頭に戻ります。

をクリックすると早戻し、 をクリックすると早送りになります。

早送り/早戻しは、ボタンをクリックするたびに2倍→4倍→8倍→16倍となり、16倍からもう一度クリックすると2倍に戻ります。

をクリックするとコマ戻し、 をクリックするとコマ送りをします。ボタンをクリックするたびに1コマ移動します。

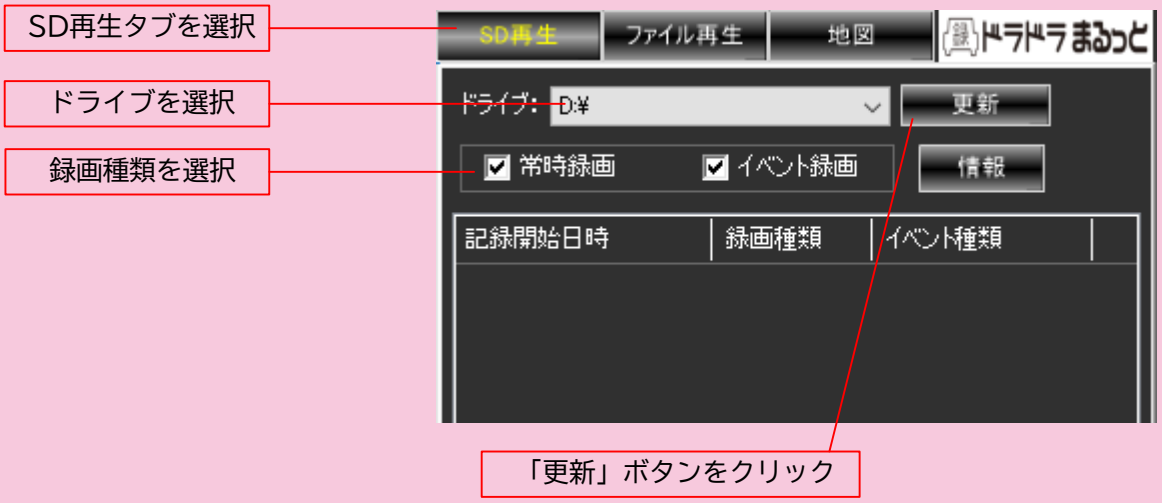
# 再生する

DD-W01 VIEWERはSDカードと、HDDに保存された記録データのいずれかを選択して再生することができます。

## ■SDカードの記録データを再生する

①SDカードの記録データをリスト表示する

SDカードをパソコンに挿入してください




②再生したい記録データを選択する

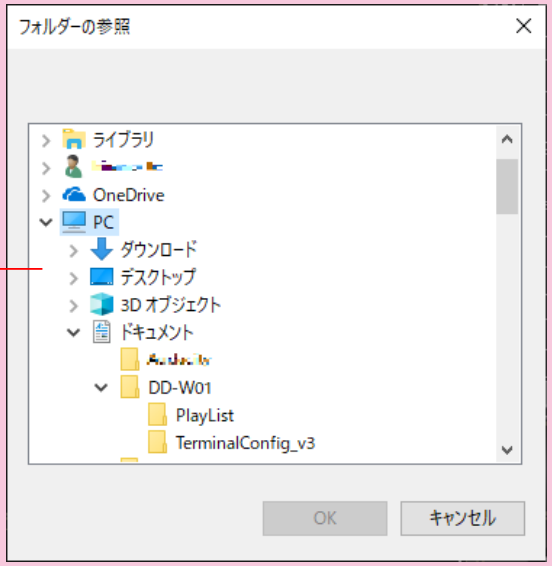
## ■HDDに保存した記録データを再生する

①保存先のフォルダを選択してリスト表示する

ファイル再生タブを選択

「参照」ボタンをクリック

記録した映像のフォルダを選択




②再生したい記録データを選択する

再生したい記録データをクリック

選択すると青色に変わり
再生開始

## 動画を保存する

DD-W01 VIEWERは、SDカード上の記録データをHDDに保存することができます。

### ■常時録画を保存する

①保存するSDカードの常時録画データを選択する

保存したい常時録画
データを選択する

②動画保存操作をする

動画保存ボタンを
クリック

③動画保存する時間帯(シーン)を選択する

◆選択した記録データのすべてを保存する場合

保存ボタンを
クリック

◆時間帯(シーン)を選択して保存する場合

・スライダーバーを使い、保存開始日時、終了日時を選択して保存します。

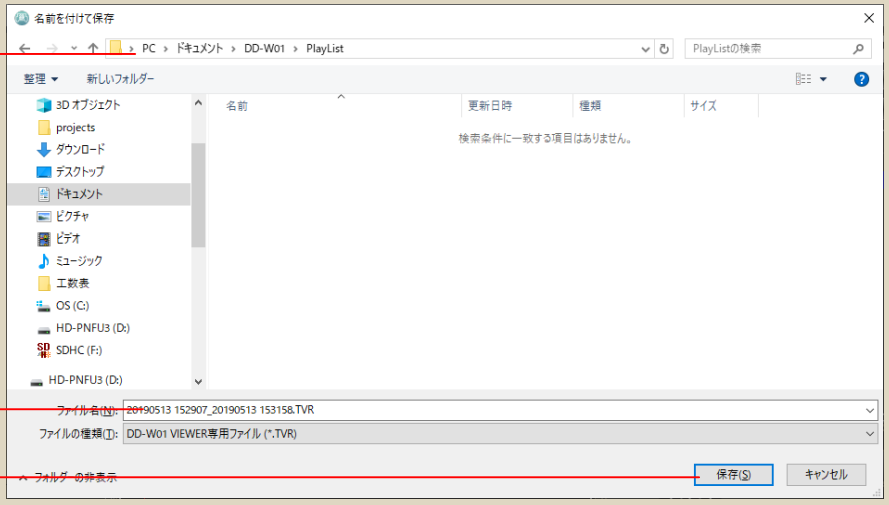
② 保存終了日時ボタンで終了日時を決定する

④ 保存終了日時ボタンで終了日時を決定する

⑤ 保存ボタンをクリック

① スライダーバーで保存したいシーンの先頭を選択

③ スライダーバーで保存したいシーンの終端を選択




保存先フォルダを選択

ファイル名を入力する

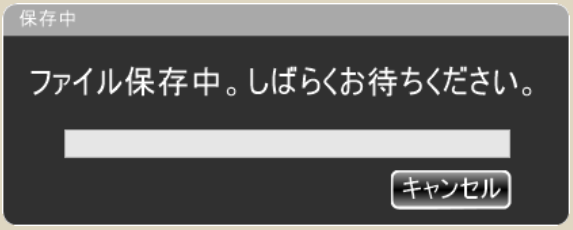
保存ボタンをクリック

**ワンポイント**

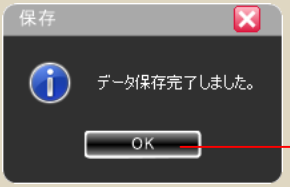
ファイル種類選択で、MP4フォーマット(*.MP4)を選択すると、Windows Media Playerなどの一般的なメディアプレーヤーで再生することができます。
MP4ファイルの保存には、最大で録画時間同等の時間がかかる場合があります。

保存ボタンをクリックすると、データ保存中のダイアログが表示されます。

**注意：この表示がされている間は、絶対にSDカードを抜かないでください。**
**SDカードを抜き取った場合、保存ができなくなる他、SDカードのデータを破損する場合があります。**



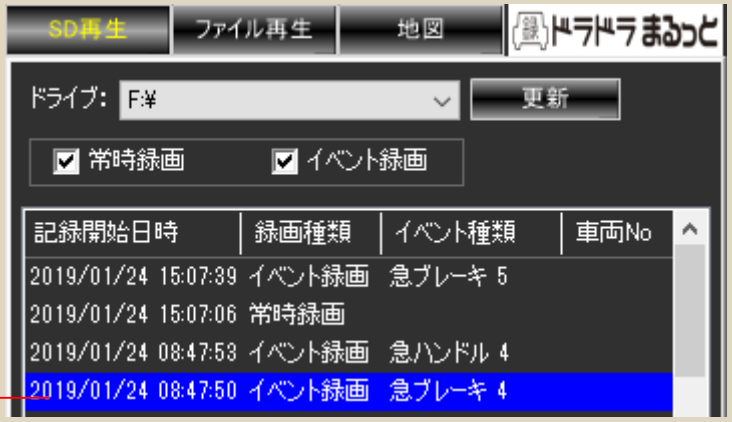

保存が完了すると「データ保存完了しました。」と表示されます。




OKボタンをクリック

## ■イベント録画を保存する

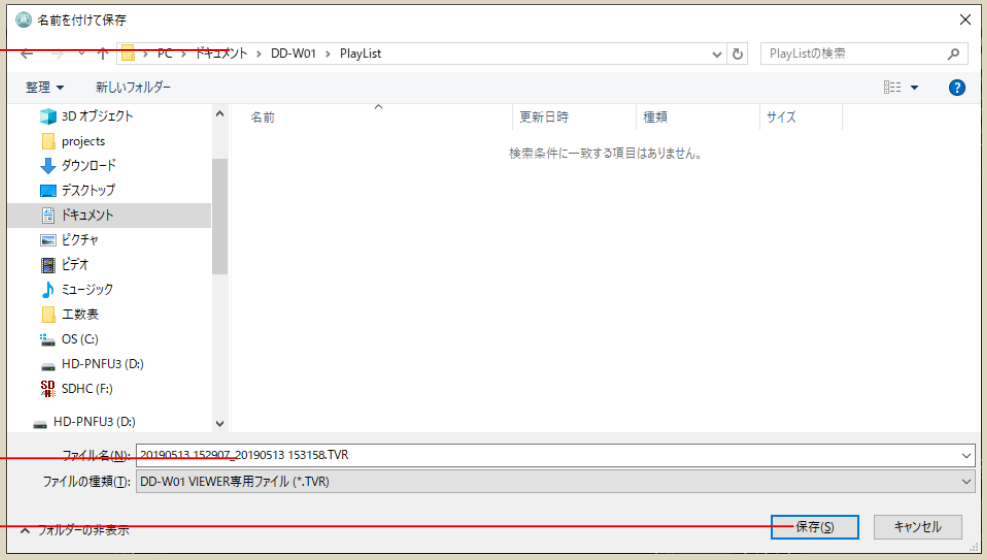
① 保存するSDカードの記録データを選択する




保存したいイベント録画データを選択する

② 保存するフォルダ、ファイル名称を決定する

保存ボタンをクリックすると、名前をつけて保存のダイアログが開きます。




保存先フォルダを選択

ファイル名を入力する

保存ボタンをクリック

# 映像を拡大表示する

## 映像を拡大表示する

① 映像上でマウスの左ボタンを押す

② マウスの左ボタンを押したままドラッグし、拡大表示する範囲を選択する

③ マウスの左ボタンを放し、拡大表示する範囲を決定する

選択範囲が小さい場合は
拡大表示されません。

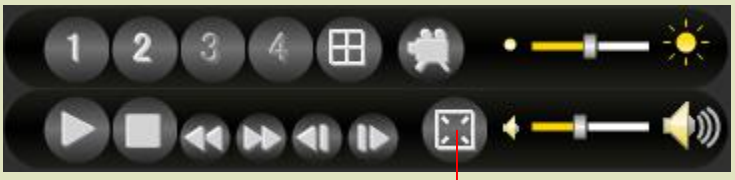
拡大表示中に同じ操作を繰り返すことで、更に拡大できますが
10倍を超える大きさに拡大することはできません。

## 拡大表示を解除する

拡大表示中の映像をダブルクリックすると、拡大表示が解除され、通常の表示に戻ります。

# 映像を全画面表示する

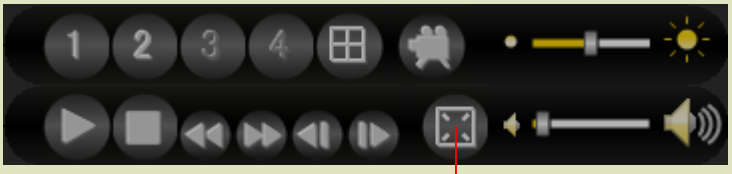
## 全画面表示する




全画面表示ボタンをクリックする

全画面表示中もウィンドウ表示の場合と同様に再生操作を行うことができます。

## ウィンドウ表示に戻す




全画面表示ボタンをクリックする

# パノラマ表示

## 映像をパノラマ表示する

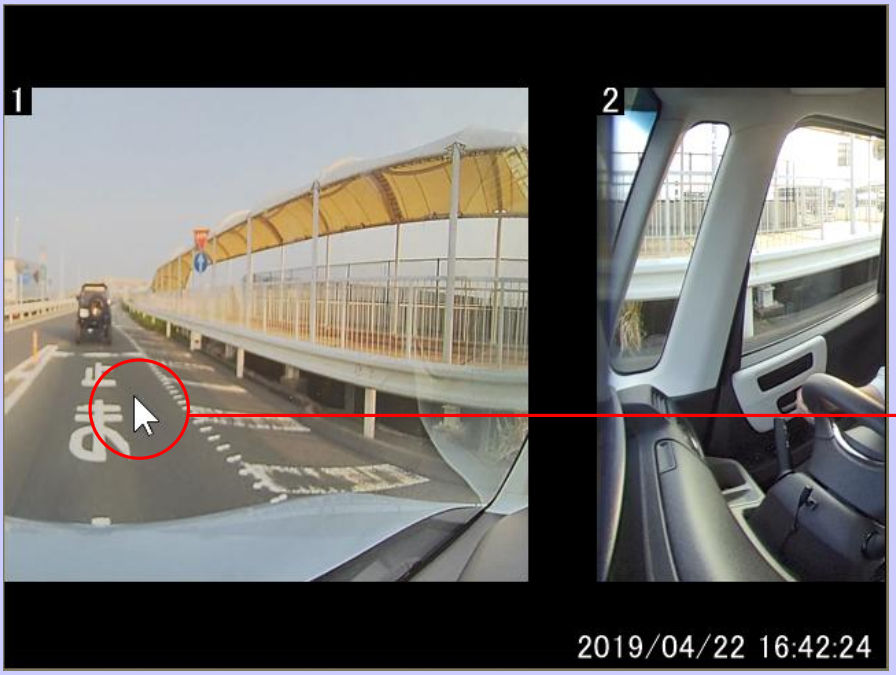
① 前方カメラ映像、または後方カメラ映像の単画面表示に切り替える

どちらかをクリック

② 映像上でマウスの右ボタンを押す

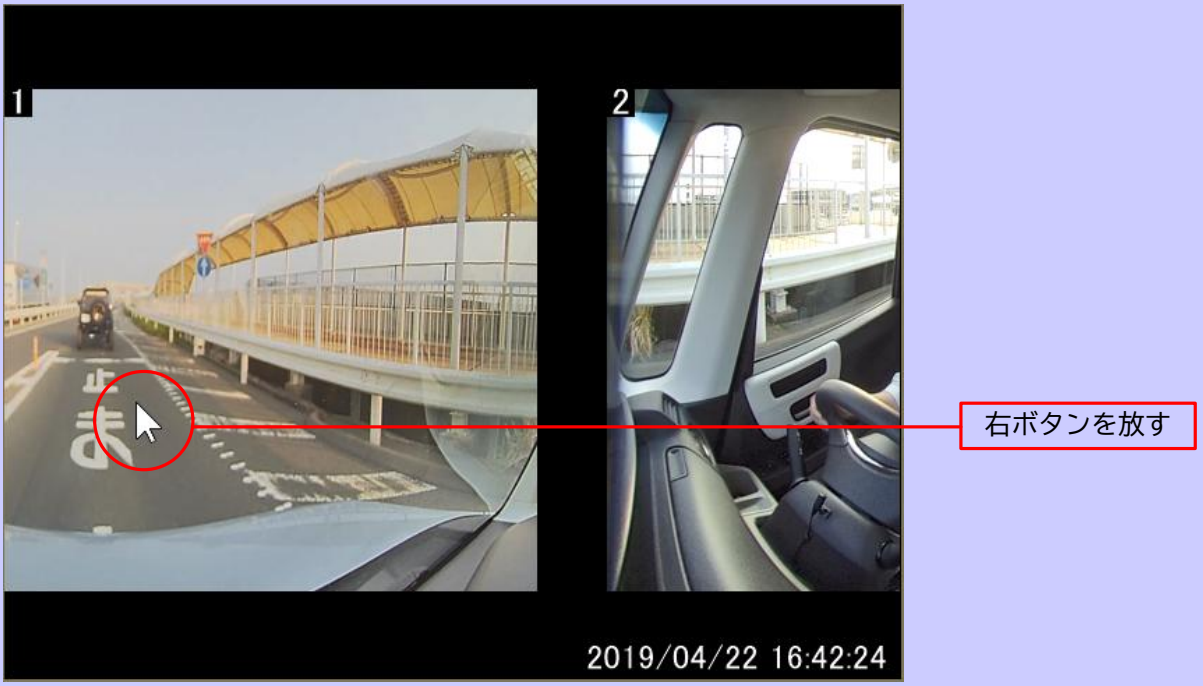
マウスの右ボタンを押す

③ マウスの右ボタンを押したまま左方向、または右方向へドラッグする




右ボタンを押したままドラッグする

④ マウスの右ボタンを放す




## パノラマ表示を解除する

① 前方カメラ映像、または後方カメラ映像の単画面表示にする場合
再生制御部のカメラ切り替えボタンをクリックして単画面表示に切り替えるか、単画面表示させたい映像をマウスの左ボタンでダブルクリックしてください。

② 前方カメラ映像、後方カメラ映像の上下同時表示にする場合
再生制御部の分割表示ボタンをクリックしてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

㈱ＪＡＦメディアワークス（以下、「当社」といいます）は、お客様に、ダウンロードそのほかの手段により提供され、インストールされたソフトウェア（以下、「本ソフトウェア」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

第１条（著作権）　本ソフトウェアに関する著作権等の知的財産権は、当社に帰属し、又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトウェアは、日本及びその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

第２条（権利の許諾）　お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトウェアを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、お客様のPCに搭載されたHDDその他の記憶装置に本ソフトウェアをインストールし、使用することができます。

２　お客様は、本ソフトウェアをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

第３条（制限事項）　お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトウェアの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。

２　お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトウェアを全部または一部であるかを問わず、使用複製することはできません。

３　お客様には本ソフトウェアを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトウェアを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

第４条（限定保証）　本ソフトウェアは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、当社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも暗示的にも本ソフトウェアに関して一切保証しません。本ソフトウェアに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

第５条（責任の制限）　当社は、本契約その他いかなる場合においても、結果的、付随的あるいは懲罰的損害について、一切の責任を負いません。お客様は、本ソフトウェアの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より当社を免責し、保証するものとします。

第６条（契約期間）　本契約は、お客様が本ソフトウェアをダウンロードし、またはお客様のハードウェアにインストールされた日をもって発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。

２　お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、当社は、お客様に対し何らの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、当社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときには、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトウェアを破棄するものとします。

第７条（輸出管理）　お客様は、本ソフトウェアあるいはそれに含まれる情報・技術を日本ならびにその他の関係国が出荷等を禁止ないし制限している国に出荷、移転または輸出しないことに同意します。

第８条（その他）　本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

以上